

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）全日制

1 学校のミッション

- 全日制普通科の高校として生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することを目指した学校づくりに取り組む。
- 教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。
- 国内外を問わず広く社会に貢献する「真のトップリーダー」を育成することを目指し、他者を思いやる温かい心と冷静な判断力、幅広い教養と優れた課題解決能力の育成及び国際感覚を養う機会の充実に取り組んできたが、今後はさらに、グローバル化が進展する社会に求められる資質・能力を踏まえ、より深く広い学びのあり方を追究し、生徒が自ら探究し考察する力を高められるよう不断の授業改善を行うなど、教育活動の一層の充実に取り組む。
- 学力向上進学重点校としての取組を充実させる。

2 学校教育目標

- 1 常に安全・安心で快適に学べる教育環境の整備に取り組む。
- 2 県立高校改革実施計画に基づく「質の高い教育の充実」を目指す。
 - 「生徒の心に火をつける授業」を目指し、生徒の知的好奇心を高め、生涯を通じて主体的に学ぶ姿勢を育む。
 - 生徒支援・教育相談体制のより一層の充実を図り、自己肯定感を高め、他者を思いやる心を大切にしながら豊かな人間性の育成を図る。
- 3 県立高校改革実施計画に基づく「学校経営力の向上」を目指す。
 - 地域に開かれ信頼される学校づくりを目指す。
 - 本校の特色ある教育活動について広く情報を発信する。
- 4 学力向上進学重点校として充実したカリキュラムマネジメントに努める。
 - グローバル化が進み、変化の激しい社会に求められる資質・能力の育成を図る教育課程を編成する。
 - 生徒の進路希望の実現を目指す。
 - 生徒に対してきめ細かい学習支援・キャリア支援等を的確に行う体制づくりに努める。
 - 生徒の探究力、論理的な思考力・判断力・表現力をより一層高めるための授業改善に取り組む。
 - 「総合的な探究の時間」での探究活動の取組等を通じて、生徒一人ひとりに教科横断的な高い学力と現代社会の課題解決に活用できる知恵や経験を身につけさせる。
- 5 事故・不祥事ゼロに向けた取組の重点目標を「個人情報管理及び入学者選抜業務の適切な処理」とし、学校への信頼を高める。

3 計画作成時点での課題

- 学力向上進学重点校として求められる生徒一人ひとりの進路実現に向けた支援方法の改善及び持続可能な職員の体制づくり
- 自己肯定感の低い生徒へのカウンセリング機能充実のための組織的な取組
- 生徒を支援する教員の業務量と働き方改革の両立

4 4年間の目標と主な方策（令和6年度～令和9年度）

視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1 教育課程・学習指導	(1) 学力向上進学重点校として、生徒が希望する進路実現のための教育課程を編成する。 (2) 授業の質の向上と量の確保に努め、生徒の一層の学力の向上を図る。 (3) 世界的な視野で物事をとらえ、現代社会における課題を見出し、自身の力を発揮しながら主体的に課題解決を図る力を育成する。 (4) 「生徒の心に火をつける授業」を追求し、質の高い教育を充実させるため不断の授業改善を行う。	(1) 生徒が希望する進路実現に向けたより良い教育課程を追究するとともに、すべての教科で「深い学び」となるようカリキュラムマネジメントに努める。 (2) 「翠嵐スタンダード」及び「翠嵐スタンダード」に基づき計画的な授業進度を確保する。また、朝学習、長期休業中の講習、土曜講習を活用しながら既習事項の早期定着と応用力の強化を図る。 (3) 「グローバル探究」、修学旅行、姉妹校交流、講演会等の実施を通して、生徒が自ら探究し、考察する力の涵養、論理的な思考力・判断力・表現力を身につけられるよう、指導体制の充実を図る。 (4) 公開研究授業、「生徒による授業評価等」を通して校内授業研究に取り組み、組織的な授業改善を推進する。
2 生徒指導・支援	(1) 豊かな社会性や他者への思いやり、冷静な判断力など「真のトッパーリーダー」に求められる人間的な素養の育成を図る。 (2) 基本的生活習慣の確立や規範意識の醸成を図る。 (3) 個別な支援が必要な生徒に対する教育相談体制の充実を図る。	(1) 授業や部活動・学校行事等に主体的かつ協働的に取り組む活動の中に、他者との良好な関係づくりができる機会を設定する。 (2) 遅刻指導、服装指導、挨拶の励行などを通して、集団の中で求められる行動について自ら気づき、振り返る機会をつくる。 (3) 日ごろの生徒の行動の変化に注視し、担任、教育相談コーディネーター、養護教諭、SCやSSWとの連携を密にして、情報を共有しつつ、個別の支援策を協議する体制を整える。
3 進路指導・支援	(1) 学力向上進学重点校として、生徒の高い進路希望を実現させるための支援体制を確立する。 (2) 大学卒業後の進路も見すえたキャリア教育を推進する。	(1) ガイダンスグループ、学年、担任が一体となり組織的な進路指導に取り組む。「翠嵐スタンダード」及び「翠嵐ベーシック」に基づき、生徒の進路実現のための学習支援体制・状況の進捗管理を行う。 (2) 「校外学習」「学部学科研究」「分野別職業講話」などを通して文理選択や学部学科選択、進路について考えさせ、充実したキャリア教育を実施する。
4 地域等との協働	本校の教育活動や特色ある取組について、情報を発信し、地域に開かれ、信頼される学校づくりを目指す。	・学校HPの内容を充実させ最新の情報を発信する。適時に情報更新を行い、また、メール配信システムの活用を通して、迅速で正確な情報の発信を心がける。 ・学校説明会や学校見学会等の機会を通して、学校の取組や生徒の活動等を発信し、学校の魅力を中学生等とその保護者に発信する。 ・地域との連携を通して、生徒に地域貢献の大切さを理解させる。
5 学校管理・学校運営	(1) 事故・不祥事防止に向けた取組を徹底する。 (2) 防災意識の向上を図る。 (3) 校内施設・設備の充実を図り、職員の執務及び生徒の学習環境の充実を図る。 (4) 教員が子どもたちと向き合う時間を確保するために、一層の「教員の働き方改革」を推進する。	(1) 個人情報管理の徹底や成績処理における事故・不祥事防止を重点的に行うとともに、事故・不祥事を他人事としないように職員の意識啓発を進める。 (2) 実践的な避難訓練などを通して、職員・生徒の防災意識を向上させる。 (3) 校内施設の使用状況や学校のDX化を踏まえて、職員や生徒のよりよい教育環境の整備に向けた検証を行い、具体的な改善策を検討する。 (4) 学校行事の精選や業務内容を見直し、業務のスリム化を推進する。併せて勤務時間外在校時間の縮減と休暇を取得しやすい職場づくりに取り組む。